

製品名: Gab 2 (リン酸化 Ser159) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04717**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	100kDa

抗原情報

遺伝子名	GAB2
別名	GAB2; KIAA0571; GRB2-associated-binding protein 2; GRB2-associated binder 2; Growth factor receptor bound protein 2-associated protein 2; pp100
遺伝子 ID	9846.0
SwissProt ID	Q9UQC2
免疫原	抗血清は、ヒト GRB2 の Ser159 リン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 125-174

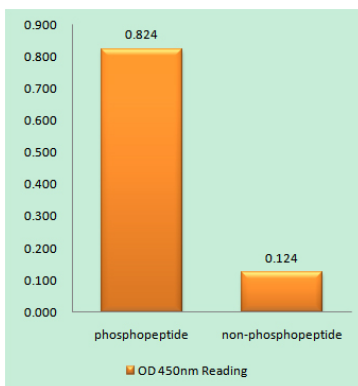
背景

GRB2 関連結合タンパク質 2 (GAB2) Homo sapiens この遺伝子は、GRB2 関連結合タンパク質 (GAB) 遺伝子ファミリーのメンバーです。これらのタンパク質はプレクストリン相同性 (PH) ドメインを含み、SHP2 チロシンホスファターゼおよび GRB2 アダプタータンパク質に結合します。これらは、サイトカイン受容体、増殖因子受容体、T細胞抗原受容体、B細胞抗原受容体を介した刺激に反応して、様々なシグナルを伝達するためのアダプターとして機能します。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、高親和性 IgE 受容体の活性化に反応して、ホスファチジルイノシトール 3 キナーゼの主要な活性化因子です。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 2 つの選択的スプライシング転写産物が記載されています。 [RefSeq 提供、2009 年 11 月],PTM:PTPN11 によって脱リン酸化されます。 ,PTM:トロンボポエチン受容体 (TPOR) 、幹細胞因子受容体 (SCFR) 、T細胞および B細胞抗原受容体、gp130、IL-2R、IL-3R によってチロシン残基がリン酸化されます。 ,類似性:GAB ファミリーに属します。 ,類似性:1 つの PH ドメインを含みます。 ,サブユニット:GRB2、PI-3 キナーゼ、およびその他の SH2 含有タンパク質と相互作用します。 ,

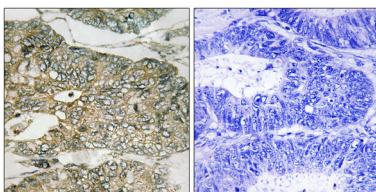
研究分野

Fc イプシロン RI、Fc ガンマ R を介した貪食作用、慢性骨髄性白血病、

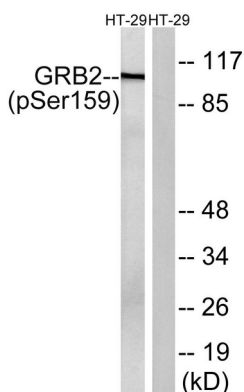
画像データ



GRB2 (リン酸化 Ser159) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定 (リン酸化 ELISA)



GRB2 (リン酸化 Ser159) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



HT29 細胞ライセートを血清 20% 15 'で処理し、GRB2 (リン酸化 Ser159) 抗体を用いてウェスタンブロット解析を行った。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。